

新年のご挨拶



地域医療連携室長
副院長 幡谷 潔

新年あけましておめでとうございます。本年も何卒宜しく願い申し上げます。

現在、地域医療連携室には入退院支援看護師 3 名、MSW 2 名、事務 1 名で構成されており、医療機関からの紹介予約や転院受入れ、診療情報提供書及び返書管理、内外への講演会等の参加、開催、医療機器共同使用の予約など、前方、後方連携として地域医療連携に関わる実務全般を行っております。入退院支援では他病院、他施設から入院する患者さまを中心に「ご家族も含め、退院調整を進めさせていただいております。

急性期における退院調整は入院前から始まると言われるように早期からの関りが重要となります。

そのため、病棟看護師と連携したシステム作りの構築を目指しておりますが、現実には老老介護、独居、親族、兄弟との疎遠等により、ご自宅への退院を望まれても、療養施設への入所を提案せざるを得ない状況が多くみられます。療養施設への退院については、さいわい地域に様々な施設がありますので、患者さま、ご家族のご希望を聞きながらMSWと力を合わせ、地域の事業所さまと連携しスムーズかつ安心できる退院支援を心がけています。

今後とも地域の病院、事業所さまと顔の見える連携を心がけ、前方、後方連携の窓口としての体制強化を職員一同、誠心誠意、全力で取り組んでいく所存ですので、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

なお、何かご相談がございましたら、お気軽に地域医療連携センターまでご連絡ください。



入退院支援看護師
芹澤、山崎、嶋津

謹んで新春のお慶びを申し上げます。去年は地域の医療機関および事業所さまのご協力を頂きながら患者さまの入退院支援を行うことができました。本年は病院から地域へ出て、地域と密接な関わりを持ち、シームレスな連携が築けるよう取り組んでまいります。

昨年より、入退院支援コーナーを設けました。専従の入院支援看護師が、入院時から患者さまと関り、入院を支援し退院調整へと繋げています。入院という非日常的な出来事に不安を感じている患者さま・ご家族に安全・安心を届けられたらと思っています。「何かあれば、あそこに行けば安心ね」身近で気楽にお声をかけて頂けるような存在になりたいと考えております。(山崎)

昨年 10 月より地域医療連携室配属となりました芹澤と申します。入退院支援看護師として活動しております。これまでの病棟勤務の経験を活かし、患者さま、ご家族さまが安心して入院、医療を受けられるよう支援していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。(芹澤)

私は入退院支援担当の嶋津と申します。早いもので 3 年が経過いたしました。去年は地域の皆さまから、たくさんのお力添えをいただき円滑に業務を行うことができましたこと、この場をおかりしましてお礼申し上げます。

本年も自宅退院に向けて、安全安楽に生活できるように院内・院外の皆さまと連携をおこなってまいります。また家族・ご本人さまの意向に沿った支援を考え、一人一人のストレングスを大事に、退院支援等が出来ればと思います。引き続き今後ともご指導賜りますようお願いいたします。(嶋津)

